



ら ぶ っ く  
**La・Book**

5月号

No.95

### 荻原守衛(碌山)没後 110 周年

明治 12(1879)年に東穂高村で生まれた荻原守衛は明治 43(1910)年に 30 歳 5 月の若さで亡くなりました。今年に没後 110 周年です。

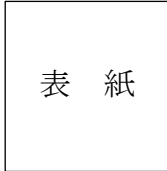
関連する資料をご紹介します。

<どんな人物?その生涯を知りたい>

『碌山愛と美に生きる』

「荻原守衛」読みもの委員会編集/碌山美術館

碌山は彫刻家として有名ですが、その生涯までは知らない方も多いのではないのでしょうか?この資料は読みやすい文章で書かれており、写真も多いので気軽に手に取ることができます。



表紙

<作品を知りたい>

『碌山荻原守衛全作品集』

臼井吉見他著/講談社

36cmと大判で、大きな写真で作品を見ることができます。解説も充実しています。

『荻原守衛作品集』 碌山美術館

碌山美術館開館 50 周年を記念して刊行されました。

作品はもちろんスケッチブックや日記・

書簡等も収録されています。



表紙

<小説で時代を知る>

『安曇野』 臼井吉見著/筑摩書房

明治 30 年代から大正、昭和にかけての日本を荻原守衛、相馬愛蔵・黒光、井口喜源治など安曇野ゆかりの人物を中心に描かれた大河小説。

全 5 部の大作ですが、家で過ごすことの多い今じっくりと読むのはいかがでしょうか?

堀金図書館

奮闘!調べもの日記(レファレンス)

### 大正時代に大流行した 新型ウィルス(スペイン風邪)とは

人類の感染症との戦いはとても古く、大変な困難と克服の歴史を刻んできたと言えます。

疫病による死者数は、戦争や自然災害をはるかに超える数になるため、大帝国が滅亡したり、世界の趨勢が一変したりする原因になることもよくあることでした。

1918年に始まった「スペイン風邪」というインフルエンザも、世界で約4500万人も亡くなった史上最悪の疫病でした。日本もこのウィルスの上陸で多くの犠牲者が出ました。ところがその事実は歴史的に大きく扱われることはありませんでした。同時期にあった第一次世界大戦、関東大震災に関心が向いて、感染症の大流行は見過ごされてしまったようです。

大正時代は比較的近い過去なので、意外に多くの資料を見つけることができます。疫病に苦しむ大正時代の庶民の生活を描いた小説もあります。先日、文書館の館長さんが探されていたのは「棺桶が不足し、茶箱や魚屋の木箱が代用された」という地元紙の記事でした。痛ましい場面ですね。今の苦境を乗り越えるために、過去から学べることも多い気がします。



表紙

<関係資料>

『シリーズ疫病の徹底研究「人類の歴史は」』

池上彰 監修・伊波達也 文/講談社 2017 年  
『日本を襲ったスペイン・インフルエンザ』

速水 融 著 /藤原書店 2006 年



安曇野市図書館  
よいお知らせ

全館開館します!

開館日: 5月16日(土) ~

開館時間: 午前10時~午後5時

(5月末まで)

○土日は混雑が予想されます。平日の利用が可能な方は、平日にご来館ください。

○必ずマスクを着用してご来館ください。

○図書館内で人と人が十分な距離をとれないほどの入館人数に

なった場合は、「密」を避けるため入館を制限する場合があります。

・貸出と返却のみです  
・閲覧席は利用できません

# 4月貸出ランキング

## 一般書

- 1 素敵な日本人／東野圭吾
- 2 ダイイング・アイ／東野圭吾
- 3 酒合戦／佐伯泰英
- 4 マスカレード・ナイト／東野圭吾
- 5 虚ろな十字架／東野圭吾
- 6 大家さんと僕 これから／矢部太郎
- 7 カッコウの卵は誰のもの／東野圭吾
- 8 神様のカルテ〇 有明／夏川草介
- 9 危険なビーナス／東野圭吾
- 10 恋の Gondola／東野圭吾



## 児童書

- 1 バムとケロのさむいあさ／島田ゆか
- 2 バムとケロのにちようび／島田ゆか
- 3 きょうはなんのひ？／瀬田貞二
- 4 くだもの／平山和子
- 5 このあとどうしちやおう／ヨシタケシンスケ
- 6 しろくまちゃんのほっとけーき／わかやまけん
- 7 どうぶついろいろかくれんぼ／いしかわこうじ
- 8 バムとケロのおかいもの／島田ゆか
- 9 すてきな三にんぐみ／トミー=アンゲラー
- 10 だるまさんが／かがくいひろし

## AV 資料

- 1 スフィート・リトル3 森の仲間と大冒険／オーデュ・パーテン
- 2 男はつらいよ 9 柴又慕情／山田洋次
- 3 男はつらいよ 25 寅次郎ハイビスカスの花／山田洋次

堀金図書館から

## 本のソムリエ(司書)おすすめ本

### 一般書 『食べる』

中村安希 集英社

表紙

この本は楽しい観光の本ではありません。冒険記のような「食」のエッセイです。

世界各地に出かけ、そこでしか食べられない物がたくさんあり、食事は人と人、心と心を結びつける大事なものであるということが書かれています。

ボツワナの話は恐怖を感じ、ネパールでのやぎの内臓を食べる話に、有名な映画を思い出し、似たようなことが存在することに驚きました。

### 児童 『本屋さんのルビねこ』

野中柊/作 松本圭以子/絵 理論社

表紙

ある日〈本屋 本の木〉の片すみで、ちいさなねこが生まれました。でも、親はいません。だって、本に積もったほこりから生まれたのですから…

そんな子ねこには、「ルビ」という名前が付けられました。「ルビ」というのは振り仮名用の活字のことです。でも、なぜ「ルビ」と呼ぶのでしょうか？

それはこのお話を読めばわかります！

初めてミルクを飲んだり、ネズミと間違えられたり、友達が出来たり…穏やかで楽しい日々のお話です。

## 安曇野市図書館より、特別整理期間による休館のお知らせです。ご理解ご協力をお願いします。

- 明科図書館：6月1日～6月8日  
 豊科図書館：6月8日～6月15日  
 三郷図書館：6月15日～6月22日  
 堀金図書館：6月22日～6月29日  
 中央図書館：6月29日～7月6日



## 全国の書店員が選ぶ、今一番売りたい本を決める「2020 本屋大賞」が決定！！

### 『流浪の月』

表紙

(風良ゆう/東京創元社)

### ※編集後記※

安曇野は新緑が輝き、北アルプスを映す水鏡がとても綺麗な季節を迎え、全てが生き生きとしています。

四月は、こどもたちの元気な声が、校庭に響くことも無く過ぎていきました。五月はどんな月になるのでしょうか。

図書館の中で、思い思いに本を選び、ゆったりとした時間を過ごす。そんな日が、早く来ることを願っています。

### 編集・発行・お問い合わせ



- 中央図書館 ☎84-0111  
 豊科図書館 ☎71-4022  
 三郷図書館 ☎76-3078  
 堀金図書館 ☎72-3601  
 明科図書館 ☎62-1122

(図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます)  
<http://www.city.azumino.nagano.jp/site/tosho>)

